

令和5年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

介護保険課

1 施設の概要等

施設名	府中市特別養護老人ホームほのぼの苑		
所在地	府中市上下町深江488番地3		
設置目的	介護保険及び高齢者福祉の増進を図り、各種サービスを総合的に供与するため		
施設・設備	ほのぼの苑建物		
指定管理者	R4.4.1	～	R7.3.31 社会福祉法人 翁仁会

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	R4	10,120 人	10,646 人	168 人	526 人	105.2%
R5	10,517 人	10,502 人	-144 人	-15 人	99.9%	%
R6						%
R7						%
R8						%
増減理由	入所利用者の健康・元気にかかわる取組み(ポジショニング・機能訓練等)を強化し、入院につながる誤嚥性肺炎を減らし稼働率向上を実現する。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	<b>【実施方法】</b>	<b>【対象・人数】</b>
	面会時を活用した家族・利用者との面談	家族40名・利用者30名程度
	介護支援専門員への調査	6事業所
	<b>【主な意見】</b>	<b>【その対応状況】</b>
	口座振替の金融機関を増やしてほしい	1金融機関増え、1金融機関調整中
	面会や外出・外泊の制限の緩和	直接面会や外出を実施した

4 市の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	×	
	日報(必要随時)	×	
管理運営会議	0回 会場	【特記事項等】	・必要に応じて随時会議を実施する
現地調査 (実施月)		【指定管理者の意見】	・必要に応じて随時協議を実施。
	1月 2月 3月 4月 5月	【市の対応】	・施設の設備確認(令和5年8月)
	6月 7月 8月 9月 10月		
	11月 12月	○	

## 5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	0	0		R4	158,922	-1,208
R5	0	0	R5	160,040	1,118		
R6			R6				
R7			R7				
R8			R8				

## 6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R4決算額	R5決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入				
	市委託料	0	0	0	
	料金収入	158,922	160,040	1,118	稼働率95.65%
	その他収入	0	83	83	受託事業収益
	計(A)	158,922	160,123	1,201	
	支出				
	人件費	110,310	127,101	16,791	外国人材2名・看護1名・介護1名採用
	光熱水費	7,614	7,709	95	換気と冷暖房の関係と光熱費の高騰
	設備等保守点検費	924	879	-45	介護ソフトの契約変更
	清掃・警備費等	14,992	16,225	1,233	外国人材支援・委託業者の値上げ
施設維持修繕費	888	1,414	526	給湯機修繕	
事務局費	21,166	21,373	207	日用品等の高騰	
その他支出	6,764	7,039	275	減免+減価償却+国庫補助金取崩額	
計(B)	162,658	181,740	19,082		
収支①(A-B)	-3,736	-21,617	-17,881		
自主事業					
収入(C)	300	2,010	1,710	デイ負担分経費繰入	
支出(D)	186	57,084	56,898	かがやき苑増改築費・拠点区分繰入金	
収支②(C-D)	114	-55,074	-55,188		
合計収支(①+②)	-3,622	-76,691	-73,069		

## ※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

## ※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

## 7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	<p>府中市北部圏域の福祉を担う法人として、利用者のかたの「安心・安全・元気・満足」、職員の「やりがい・働きやすさ」、地域との「つながり」を意識し運営しています。</p> <p>平成11年に開設し25年が過ぎ、施設設備の老朽化が多く見られている。利用者や職員の安全のため、早い修繕をおこなっている。今後も大きな修繕が控えている為、計画的に実施する必要がある。</p> <p>職員不足や高齢化が続いており、今後の事業継続を考えるうえで最重要課題と考える。</p> <p>入所利用者の高齢化・重度化(介護と医療)が進み(平均介護度4.2・平均年齢90.4歳)看取り等での昨年度の退所は13名と多い。入所希望者も減っており、「機能訓練」「食からの元気」を実践し、入院に繋げない空きベットを増やさないと考える。稼働率は95.65%であった。</p>	<p>府中市北部圏域の高齢者の生活を支える法人として、地域とのつながりを重視して運営され、適切に運営が行われている。</p> <p>施設の維持管理については、新型コロナウイルスの影響により立ち入りを制限しており、実地での確認ができていないが、大規模修繕等の必要に応じて計画的に実施していく。</p> <p>利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響下ではあったが、衛生管理により入所利用者の感染も無く、高い稼働率を維持している。</p>

## 8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	<p>利用希望者減少・入所されるまでの期間の増加により空床が増えている。利用者の重度・高齢化により入院や看取り増も要因と考える。安定した経営には稼働率の安定は重要な要件となるため、空床に繋げない、空床を活用する取り組みを実施する。</p> <p>職員確保も同様で、計画的な採用が難しい状態。外国介護人材も費用がかかり、小規模施設には厳しい。さらに、日用品等の物価や水道光熱費の高騰・老朽化による修繕などもあり、しっかりとしたビジョンをもとにした経営が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域のサービス需要を反映した事業実施</li> <li>○安定的な事業継続に向けた取組</li> </ul>